

2018年 ワールドリーグ・インターコンチネンタルトーナメント  
【女子】

ニュージーランド・オークランド 2018年4月3日～4月8日

GAME NO 4 W

2018/4/3

第1戦

<b>New Zealand</b>	vs	<b>JAPAN</b>
--------------------	----	--------------

7 : 9

0	1st	0
1	2nd	3
1	3rd	3
5	4th	3

**PSO**

s

White Caps			
チーム	New Zealand		
監督	Angie WINSTANLEY・SMITH		
Caps	Player	PF	G
1	Jessica MILIUCICH		
2	Nicole LEWIS		
3	Bernadette DOYIE		
4	Morgan McDOWALL	1	2
⑤	Alexandra BOYD	1	
6	Caitlin-mary PARKER ALLEN	1	2
7	Emmerson HOUGHTON		2
8	Emma STONEMAN	2	
9	Grace TOBIN		1
10	Kate ENOKA		
11	kristen HUDSON	2	
12	Brydie PYE		
13	Bridget LAYBURN		

Blue Caps			
チーム	JAPAN		
監督	濱田 卓		
Caps	Player	PF	G
1	青木 美友		
2	有馬 優美		4
3	小出 未来		
④	曲山 紫乃	1	1
5	坂上 千明	2	
6	山本 実乃里	3	1
7	橋田 舞子		
8	新澤 由貴		1
9	細谷 香奈	1	
10	野呂 美咲季	1	2
11	徳用 万里奈	1	
12	鈴木 琴莉	2	
13	塩谷 南美		

《戦評》

初戦、地元ニュージーランドとの試合。開始直後から固さが見られ、シュートチャンスは作れるがなかなか点に結びつかず、0-0で終える。第2ピリオド以降は徐々に緊張もほぐれ、有馬・山本の連続得点、更に野呂のカウンターも決まり、前半は3-1で折り返す。後半に入り、野呂のペナルティ誘発や有馬のミドルシュートが決まりこのピリオド3-1、計6-2とする。第4ピリオド、連続失点を喫し追い上げられたが、逃げ切り勝利を掴んだ。明日は現地時間12:40から中国戦となる

2018年 ワールドリーグ・インターコンチネンタルトーナメント  
【女子】

ニュージーランド・オークランド 2018年4月3日～4月8日

GAME NO7W

2018/4/4

第2戦

<b>CHINA</b>	vs	<b>JAPAN</b>
--------------	----	--------------

11 : 7

3	1st	2
-----		
4	2nd	2
-----		
2	3rd	2
-----		
2	4th	1
-----		
<b>PSO</b>		

White Caps			
チーム	New Zealand		
監督	Angie WINSTANLEY・ SMITH		
Caps	Player	PF	G
1	Lin Peng	1	
2	Ying ZHAI	2	2
③	Xiaohan MEI	2	
4	Dunhan XIONG		4
5	Huan WANG	2	
6	Ning GUO		2
7	Sanfeng NONG		1
8	Jiawen LU	3	
9	Zewen DENG		
10	Danyi ZHNG	2	1
11	Xiao CHEN		
12	Jing ZHANG		1
13	Yineng SHEN		

Blue Caps			
チーム	JAPAN		
監督	本宮万記弘		
Caps	Player	PF	G
1	青木 美友		
2	有馬 優美	2	
3	小出 未来		
④	曲山 紫乃	1	1
5	坂上 千明		2
6	山本 実乃里	3	2
7	橋田 舞子		
8	新澤 由貴		
9	細谷 香奈		
10	野呂 美咲季	1	1
11	徳用 万里奈	2	
12	鈴木 琴莉	1	1
13	塩谷 南美		

《戦評》

第1ピリオド開始早々、センターの山本が攻め込みオーバータイム間際で退水誘発、自ら得点を決め日本が先制する幸先の良いスタート。その後センターを中心に攻撃を展開する中国と、プレスディフェンスからカウンターを仕掛ける日本チームの攻防が続く。日本は再三ノーマークや退水誘発などチャンスを作るものの決めきる事が出来ず、逆に中国は日本のディフェンスの隙を付き、センターヘボールを供給し多くの退水を誘発。徐々に点差が離れていく苦しい展開となる。最終的に7-11の4点差で敗戦となった。明日は現地時間17:50から、カナダとの対戦となる。

2018年 ワールドリーグ・インターコンチネンタルトーナメント  
【女子】

ニュージーランド・オークランド 2018年4月3日～4月8日

GAME NO12W

2018/4/5

第3戦

CANADA

vs

JAPAN

15 : 13

3 1st 3

5 2nd 3

6 3rd 5

1 4th 2

PSO

White Caps				
チーム	New Zealand			
監督	Angie WINSTANLEY・SMITH			
Caps	Player	PF	G	
1	Jessica MILIUCICH			
2	Nicole LEWIS			
3	Bernadette DOYIE			
4	Morgan McDOWALL	1	2	
⑤	Alexandra BOYD	1		
6	Caitlin-mary PARKER ALLEN	1	2	
7	Emmerson HOUGHTON		2	
8	Emma STONEMAN	2		
9	Grace TOBIN		1	
10	Kate ENOKA			
11	kristen HUDSON	2		
12	Brydie PYE			
13	Bridget LAYBURN			

Blue Caps				
チーム	JAPAN			
監督	濱田 卓			
Caps	Player	PF	G	
1	青木 美友			
2	有馬 優美		4	
3	小出 未来			
④	曲山 紫乃	1	1	
5	坂上 千明	2		
6	山本 実乃里	3	1	
7	橋田 舞子			
8	新澤 由貴		1	
9	細谷 香奈	1		
10	野呂 美咲季	1	2	
11	徳用 万里奈	1		
12	鈴木 琴莉	2		
13	塩谷 南美			

《戦評》

選リーグ最終戦、カナダとの試合。昨日の中国戦の反省から、ディフェンスのポジショニングとカウンター時の動きを修正し、更に変則的なカナダのセットディフェンスに対しての攻撃をミーティングで確認し、試合に臨んだ。第1ピリオド、山本のペナルティ誘発から鈴木がしっかりと決め先制点は日本。その後変則的な守りに対しての攻撃も上手く機能し、ドライブからの得点を重ねていくが、カナダもエースにボールを集め退水誘発、得点のパターンを繰り返し前半は6-8で折り返す。後半、お互い疲労が見える中、日本は泳ぎ続け坂上のカウンター、クロスから野呂・細谷、有馬のミドルシュートが決まり、第4ピリオドでは代表初選出の橋田が落ち着いて決める場面もあったが、カナダの強力なセンターとエース選手を抑えきることが出来ず、13-15で敗戦となった。この結果、予選リーグ3位となり、次戦はBリーグ2位アメリカとの対戦となる。

2018年 ワールドリーグ・インターコンチネンタルトーナメント  
【女子】

ニュージーランド・オークランド 2018年4月3日～4月8日

GAME NO14W

第4戦

<b>JAPAN</b>	vs	<b>USA</b>
--------------	----	------------

9 : 16

2	1st	6
-----		
2	2nd	6
-----		
4	3rd	1
-----		
1	4th	3
-----		

**PSO**

White Caps				
チーム		JAPAN		
監督		本宮万記弘		
Caps	Player	PF	G	
1	青木 美友			
2	有馬 優美	2	3	
3	小出 未来	1		
④	曲山 紫乃	1		
5	坂上 千明	1	1	
6	山本 実乃里	2	1	
7	橋田 舞子	2		
8	新澤 由貴		2	
9	細谷 香奈			
10	野呂 美咲季		1	
11	徳用 万里奈	1		
12	鈴木 琴莉	2	1	
13	塩谷 南美			

Blue Caps				
チーム		USA		
監督		Adam KRIKORIAN		
Caps	Player	PF	G	
1	Gabrielle STONE			
2	Valeria AYALA			
③	Mellisa SEIDAMANN	1	2	
4	Rachel FATTAL		1	
5	Jamie NEUSHUL	2	6	
6	Bayley WEBER	1	1	
7	Stephanie HARALABIDIS	1	3	
8	Ryann NEUSHEL	1	1	
9	Jewel ROEMER	2		
10	Kaleigh GILCHRIST			
11	Abielle HILL			
12	Alys WILLIAMS	2	2	
13	Geogia PHILLIPS			

《戦評》

一昨年のオリンピック、昨年の世界水泳優勝のアメリカとの対戦。第1ピリオド、マークしていたもののNo5 Jamie Neushulを止めることが出来ず連続失点を喫し、2-6からのスタート。アメリカの高いパス回しとスピードのある水球になかなかプレスディフェンスが機能せず、前半を4-12で折り返す。第3ピリオドに入り、ようやくプレスディフェンスからのカウンターが出現し、野呂・坂上が連続得点を挙げ退水オフェンスで有馬が決めるなど、このピリオドは4-1でアメリカを上回った。しかしながら第4ピリオド、アメリカの退水誘発から確実に得点を決められるパターンが続き、最終的に9-16のスコアで敗戦となった。

2018年 ワールドリーグ・インターコンチネンタルトーナメント  
【女子】

ニュージーランド・オークランド 2018年4月3日～4月8日

GAME NO.12 (5-6位決定戦)

第5戦

<b>JAPAN</b>	<b>vs</b>	<b>NEWZEALAND2</b>
--------------	-----------	--------------------

25 : 2

6	1st	1
-----		
6	2nd	1
-----		
6	3rd	0
-----		
7	4th	0
-----		
<b>PSO</b>		

White Caps				
チーム	JAPAN			
監督	本宮万記弘			
Caps	Player	PF	G	
1	青木 美友			
2	有馬 優美			3
3	小出 未来	1		3
④	曲山 紫乃	1		1
5	坂上 千明			5
6	山本 実乃里			2
7	橋田 舞子			1
8	新澤 由貴	1		3
9	細谷 香奈			4
10	野呂 美咲季			2
11	徳用 万里奈			
12	鈴木 琴莉	1		1
13	塩谷 南美			

Blue Caps				
チーム	NewZealand2			
監督	Timothy CHAMBERS			
Caps	Player	PF	G	
1	Chantell CONROY			
2	Claudia MORGAN	1		
3	Gabriella MILICICH			
4	Ellie TOMOANA			
5	Kaitlin DAWSON	1		
6	Elizabeth ALSEMGEST			2
7	Brogan HOUGHTON	1		
8	Shinae CARRINGTON			
9	Evangeline MILLS			
10	Gabriella MacDONALD	2		
11	Lucia DOAK			
⑫	Gabryel OLOAPU			
13	Ella HARFORD			

《戦評》

ニュージーランド2と5、6位決定戦をかけた試合。初戦で戦ったニュージーランドチーム同様、大型選手が多く揃ったチームであったが、日本は序盤からプレスディフェンスからのカウンターが決まり、順調に得点を重ねていく。カウンターで決まらない場面ではセンターの小出、山本の退水誘発も頻繁に見られ、歯車の合った攻撃が随所に展開された。結果的には25-2と大差での勝利となった。明日はスーパーファイナル出場権をかけ、カザフスタンとの対戦となる。

2018年 ワールドリーグ・インターコンチネンタルトーナメント  
【女子】

ニュージーランド・オークランド 2018年4月3日～4月8日

GAME NO.18W

2018/4/

第6戦

KAZAKHSTAN

vs

JAPAN

9 : 11

2 1st 1

3 2nd 4

3 3rd 2

1 4th 4

PSO

White Caps				
チーム	Kazakhstan			
監督	Marat NAURAZBEKOVA			
Caps	Player	PF	G	
①	Alexandrea ZHARKIMBAYEVE			
2	Oxana SAICHUK	3		
3	Aizhan AKIBAYEVA	1		
4	Anna TUROVA		2	
5	Anastasiya YEREMINA	1		
6	Darya ROGA	3	1	
7	Anna NOVIKOVA	1	1	
8	Sivilya RAITER			
9	Shakhzoda MANSUROVA	1		
10	Zamira MYRZABEKOVA		5	
11	Tomiris KENENBAYEVA			
12	Anastasiya MURATALIYEVA			
13	Azhar ALIBAYEVA			

Blue Caps				
チーム	JAPAN			
監督	本宮万記弘			
Caps	Player	PF	G	
1	青木 美友			
2	有馬 優美	1	2	
3	小出 未来			
④	曲山 紫乃	2	1	
5	坂上 千明	1	1	
6	山本 実乃里	1		
7	橋田 舞子	1	2	
8	新澤 由貴			
9	細谷 香奈		1	
10	野呂 美咲季		2	
11	徳用 万里奈		1	
12	鈴木 琴莉		1	
13	塩谷 南美			

《戦評》

スーパーファイナル出場権をかけた最終戦はカザフスタン。第1ピリオド、センターに2点連続され押され気味のスタートとなったが、キャプテンの曲山がカウンターからシュートを決め、1-2とし流れを引き戻す。第2ピリオドも全体的に固さが見え、3点差まで開く場面もあったが、その後鈴木の水誘発から細谷が得点、鈴木のカウンターで得点、水誘発からタイムアウトを取り有馬がしっかりと決め、5-5で前半を折り返す。第3ピリオド、機動力を生かしたい日本チームだが、相手センターの力強いプレーを止められず、水損失が多くなる。チャンスで橋田が2点決めるものの、このピリオド2-3と1点ビハインドで最終ピリオドへ。まずは坂上が得意のカウンターで得点、その後疲れの見えるカザフスタンチームに対しプレスディフェンスでミスを誘い、徳用のカウンター、更に有馬が水を決め引き離し、11-9で勝利し、2年連続スーパーファイナルの出場権を獲得した。